

第3章 成長と発達の記録



身体計測の記録(発育曲線)

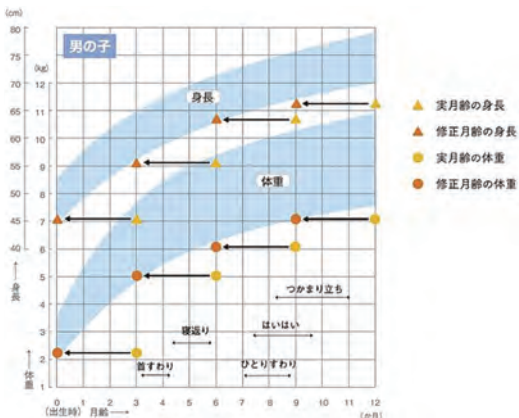
発育曲線とは

お子さんの身長・体重等を記録し、成長のペースをあらわすグラフです。
親子健康手帳に掲載されている成長曲線を、修正月齢を用いて記入する方法もあります。

修正月齢とは

修正月齢とは、出産予定日から何か月経過したかを表すもので、NICU 退院後、お子さんの未熟性を考慮して発育や発達を観察するために用いられます。外来でのフォローで3歳ごろまで使われることが多いようです。

【記入例】



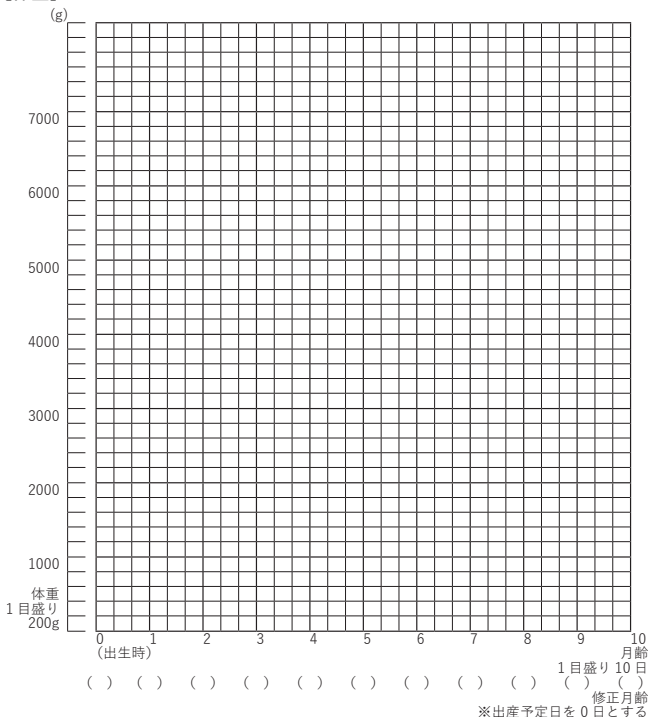
在胎 28 週で出生した男児の NICU 退院後の発育
(乳幼児身体発育曲線上で実月例から 3 か月を差し引いて評価する)

- 当時必要と考えていた切れ目ない支援者との関わりの実現の為、医療的ケア児のコーディネーターをしています！(30 週、784g 出生、現在 23 歳)
- 72 時間が山場と言われたけど、不思議と大丈夫という気持ちだったのを今でも忘れません。3 か月たった今、3,400g に。(27 週 5 日、850g 出生、現在 3 か月)

～お子さんの体重・身長を記録してみましよう～

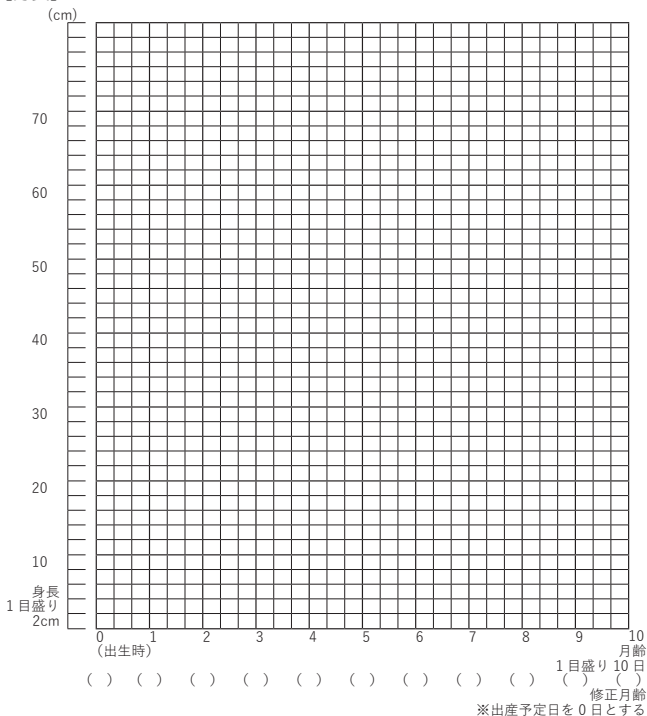
体重や身長を記載しやすく、親子健康手帳の発育曲線より目盛りを細かくしています。修正月齢を記載する等、自由にご活用ください。

【体重】



- 小さな体で生まれ自分を責め、小学校に上がっても成長の不安が多かったが、成人後母親にもなり元気に過ごしています。(34週、1,850g 出生、39歳)
- 不安なことだらけですが、不安に押し潰されて1日1日の我が子の小さな成長を見逃さないように。(24週3日、678g 出生、現在1歳5か月)

【身長】



- 笑って過ごしていた日常はまたやってきます！あせらずに色々な人の助けを借りていきましょう！（22週、557g 出生、現在7歳）
- 出生時は色々と不安もありましたが、息子のたくさんの笑顔と成長に幸せいっぱいです。（23週、614g 出生、現在7歳）

参考 極低出生体重児(1,500グラム未満)発育曲線

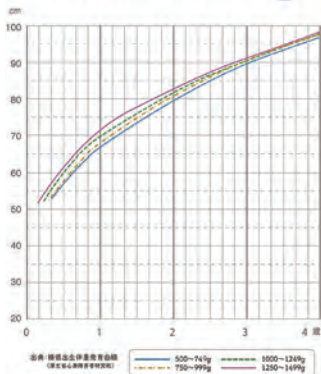
この発育曲線は、全国の1,500g未満で生まれた赤ちゃんのうち、比較的順調に経過したお子さん達の成長を基に作成されました。

赤ちゃんの成長は、御両親の体格や成長速度など体質的な面を含めた個人差も大きいので、あくまで「目安」として考えてご利用ください。

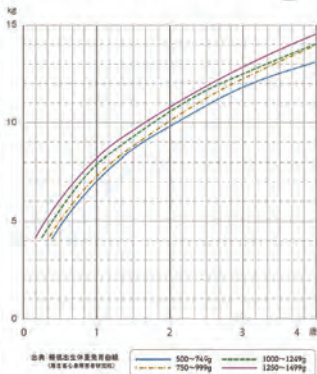
不安や疑問があるときは、主治医などへご相談ください。

☆ 極低出生体重児 (1,500グラム未満) 発育曲線

身長推移 (各体重群の平均)：男児



体重推移 (各体重群の平均)：男児



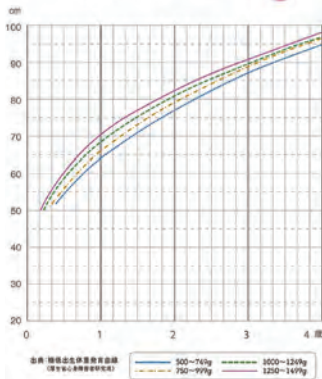
出典：極低出生児体重発育曲線（平成4～6年度厚生省心身障害者研究班作成）

- この子と私が選んだ運命だと受け入れ、治療も経過も一緒に頑張ってきた。今では元気に野球少年です。(24週3日、690g出生、現在9歳)
- 最初は不安もありましたが、小さな体でNICUで頑張った事やその成長は周囲の人に勇気を与える希望の光です。(30週、998g、現在3歳)

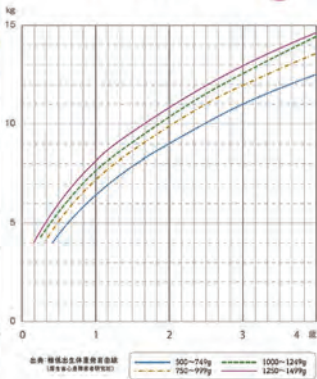


☆ 極低出生体重児（1,500グラム未満）発育曲線

身長推移（各体重群の平均）：女児



体重推移（各体重群の平均）：女児



出典：極低出生児体重発育曲線（平成4～6年度厚生省心身障害者研究班作成）

- 保育器の中では家族のメッセージを聞かせていました。今でも体は小さめですがしぐさや言葉に癒されます。（26週3日、426g、2歳4か月）
- 毎日、不安な気持ちでいっぱいだったけどゆっくりでも少しずつ成長している姿を見ているうちに、もう大丈夫だね、と思えるようになった（31週、1,294g出生、現在8か月）